レッスン：PYR　NO.46

テーマ：現在のパーソナリティー

PYR NO.46/KE6/L9/04/12

私の兄弟・姉妹たちよ、

スピリット、光、そして火の子供たちよ。私たちは常に主、絶対、主の聖性の中に抱かれています。

　前のレッスンで述べたように、現在のパーソナリティーはLifeの現れ以外の何ものでもなく、作られたものではありません

；それはLifeからのロゴス的現れです。ロゴス的現れと述べた理由は、現在のパーソナリティーを意味するサイコノエティカル体は聖霊的に築かれたものではないからです。現在のパーソナリティーは人間のイデアを通じたLifeのスパークによって活性化されたものであり、このスパークはいわゆる魂のセルフエピグノシスからの微細なスパークです。

　さて、***このスパークは全ての人の中で同じです、なぜなら魂のセルフモナドからのスパークは他のいかなる魂のセルフエピグノシスからの全てのスパークとまったく同じだからです。***

そしてこの魂のセルフエピグノシスからの微細なスパークは、絶対存在の多重性のワンネスとまったく同じです。大きな神々、小さな神々などはありません。神は一つであり、それはどれほど大きいかという量で分けるというものではありません。なぜならLifeの微細なスパークの本質は絶対存在のワンネスとまったく同じだからです。ですから神は現在のパーソナリティーのなかにあり、現在のパーソナリティーはロゴス的現れであるサイコノエティカル体以外の何ものでもありません。それは生まれたものであり、作られたものではありません。それはWidest Heavens（最も広大なヘブン）から生まれ、Widest Heavensがこのロゴス的現れを誕生させたのです。勿論肉体は聖霊的に創造されたものであり、現在のパーソナリティーがそれを使用します。

　さて、そのスパークはまた永遠のパーソナリティーとも呼ばれます。なぜなら、各転生の後、そのスパークは何であれそのパーソナリティーが経験したものを受け取るからです。

　その目的は何でしょうか？レッスンの中で述べましたが、現在のパーソナリティーはスパークのみならず永遠のアトムによっても活性化されます。

皆さんのなかには永遠のアトムはサイコノエティカル体なのかどうか、そしてそれは潜在意識の中心なのか否かと考えている人もいるでしょう；実際は何でしょうか？それら両方の問いに関する答えはイエスであるノーです。なぜそのような答えがあなたに与えられたのでしょうか？それはサイコノエティカル体でしょうか？

永遠のアトムはそれぞれの現在のパーソナリティーを転生させる乗り物であると言いましたが、同時にまたそれは現在のパーソナリティーを活性化させるスパークであるとも言いました。さて、このスパークはどこに根ざしているのでしょうか、そして永遠のアトムとサイコノエティカル体との関係は何でしょうか？それはサイコノエティカル体でしょうか？答えはノーですが、しかし永遠のアトムなくして現在のパーソナリティーはありません。

　それは潜在意識でしょうか？それもまたイエスでありノーです。そして潜在意識はどこに根ざしているのでしょうか？サイコノエティカル体はそれとは異なったものですが、しかしそれなしでは永遠のアトムは現在のパーソナリティーを持つことはないでしょう；サイコノエティカル体が誕生することはないでしょう。現在のパーソナリティーの思考・行動の仕方を規定するのは永遠のアトムです。

　前に、現在のパーソナリティーはそれ以前の体験、それ以前の全ての転生の小計であり、それを変え、またそれに加えることもできる、と述べました。実際、その能力（＊それまでの現在のパーソナリティーを変え、加えることのできる量）は現在のパーソナリティーの総計の4分の１となります。現在のパーソナリティーには多くの過去生があることを考えるとそれはかなりの量となります。

Page2

 全ての体験、全ての転生はこの乗り物としての永遠のアトムに記録されていますが、しかしそこにはまたLifeのスパークもあるのです。

　それには体があり、それはサイコノエティカル体の誕生とは別の体なのでしょうか？あるレッスンおよびエクササイズで、私たちの内側には元型である人間のイデアフォームと同一の体がある、と述べました。そしてこの体はスーパーサブスタンスな体であり、それは私たちの内側にあるLifeのスパークの体と同一です。実際、現在のパーソナリティーを自己実現へと引きつける役割をしているのはこの体なのです。勿論、Lifeのスパークと守護大天使が共にそのために働いていますが。

　さて、現在のパーソナリティーが4つのエレメントをマスターするために努力している間、そして四面ピラミッドのなかにいる間、

この体は四面ピラミッドのなかで私たちの正面にある純白のサイドのなかに見いだすことができます。その純白のサイドには2つの同一の体があります。一つはLifeのスパークの体であり、もう一つは自己実現したときに現在のパーソナリティーに与えられる体です。

しかし、その体は、もし現在のパーソナリティーが自己実現のステートに留まる場合にのみ、自己実現した現在のパーソナリティーが使用します。そして、その現在のパーソナリティーが転生のサイクルのなかで引き続きそれを使用できるよう、サイコノエティカル体は完全に再形成された体にとどまります。

　さて、永遠のアトムのこの体は現在のパーソナリティーの外側に出るのでしょうか？答えはノーです。それは前のままに留まります、現在のパーソナリティーはこの体が提供する能力を使いますが、しかし日常生活においては使用しません。現在のパーソナリティーが地球の重力圏外で奉仕をする時のみ、それを使用します。そして勿論、そのような場合サイコノエティカル体は眠った状態に留まります。実際それは普通の不可視のヘルパーが毎日行う普通のエクソマトシスではありません。それは特別な目的のために行うエクソマトシスです。

　さて、そのような場合サイコノエティカル体はどこにいるのでしょうか？自己実現するとサイコノエティカル体はマインドの高次の波動のなかに、つまりスーパーサブスタンスの波動の中に同化します。しかし、その場合高次ノエティカル体が同化される必要があるのでしょうか？

　不可視のヘルパーが地球の重力から遠く離れたところで特定の仕事をするためにその体を使う場合、サイコノエティカル体がその体に同化されることが必要でしょうか？答えはノーです。必要ありません。

完全に別な体として使用することができます。なぜならば、それは別の体だからです。しかし、自己実現するとサイコノエティカル体はあっという間に高次ノエティカル体のなかに同化される必要があります。

　さて､繰り返しますが、高次ノエティカル体は前に述べたような場合にのみ使用されます；それはどのような能力を与えるのでしょうか？主な能力は同調であり、自己実現した現在のパーソナリティーは目覚めている時でさえ高次ノエティカル体を使用せずに同調を使うことができます。

**実際、高次ノエティカル体を使用せずに同調を使ってセルフを現わすことができます。そのようにして不可視のヘルパーは他の同胞の人間たちを助けることができるのです。同調によって。そのようにして、霊的ヒーラーは助けようとする相手に同調するのです。**

　ですから永遠のアトムは全ての現在のパーソナリティーを転生させる乗り物ですが、同時に実在の波動の中における全ての体験はこの乗り物に記録され、またLifeのスパークもまたこの乗り物に根ざしているのです。

　さて、自分は前にも生きていたと言う人々がいます、自分は前にも生きていたと言い、中には自分は過去においてこのような人物であったと主張する人もいます。自己実現に到達する前に、そのように主張することができるのでしょうか？答えはノーです。自己実現したパーソナリティーだけがそのように主張することができるのです。

　なぜなら現在のパーソナリティーであるサイコノエティカル体が今や永遠のアトムと一つになっているからです。現在のパーソナリティーがそれ自身について話す時、同時にそれは永遠のアトムであり、そして永遠のアトムにはそれ以前の全ての転生があるからです。実際、自己実現すると現在のパーソナリティーは永遠のアトムと一つになりますが、しかし転生のサイクルに留まるためにサイコノエティカル体を使用するのです。

しかし、自己実現した現在のパーソナリティーは実際に今や永遠のアトムなのです；これを心に留めておいてください。

Page3

　ですから、現在のパーソナリティーが自己実現に到達すると、永遠のアトムが現在のパーソナリティーなの***です***。そして現在のパーソナリティーとして話しているその永遠のアトムが私は前にも生きていたと言うことができるのです。

名前が違う現在のパーソナリティーの場合、それは過去の転生全ての小計であり、今現在のパーソナリティーとして生きているので、前には決して存在していなかったのです（＊今生の名前としては）。自己実現したパーソナリティーの場合には､永遠のアトムがそれまでの全ての転生において転生してきたので、現在のパーソナリティーとして自分は前にも生きていたということができるのです。

　ですから、これが永遠のアトムに関する現在のパーソナリティーです。そして現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークに関しては､永遠のアトムなくして現在のパーソナリティーはありえません；そして勿論Lifeのスパークなくして永遠のアトムはありえないのです。過去の全てのパーソナリティーがそこにあり、

原因結果の法則のような全ての法則が関係している永遠のアトムが、新しい現在のパーソナリティーが次の転生における体験として何を提供し何を受け取るかを決めるのです。

　さて、今この瞬間でもあなたが自己実現した時に使う体はLifeのスパークの体と同じなのです。しかし進化成長の途上にある現在のパーソナリティーは、その体を使用することはできません。その体は自己実現した時に使われ、そして同調という能力を与えます。そして勿論その体は永遠のアトムの体であり、現在のパーソナリティーは自己実現すると永遠のアトムと一つになるのですが、しかし転生のサイクルに留まるとその体を使用しません。しかし完全に再形成されたサイコノエティカル体を使います。

Q：自己実現に到達した時にのみ過去生を思い出すことができるのですか？あるいはそうでなくても一部の転生だけでも思い出す可能性はあるのでしょうか？

K：理由によってはそれもあり得ます。しかし、ほとんどの場合、彼等は過去生からの投影の結果として、現在のパーソナリティーのバランスに問題が生じています。それは体験をもたらします。あなたは過去生でこうだったなどと言うと、それを知った人は何であれ過去生での出来事を再体験することになります…詳細にわたって、時には実際に過去生で体験したよりももっと詳細にわたって体験します。なぜならば、自己実現した現在のパーソナリティーは感覚ではなくて同調を使うからです。過去の一つだけのパーソナリティーに同調するのみならず、同時にその場所や周囲の状況にも同調し、あなたは全身で見ます。場所に同調するということは、全てがこの部屋の中にあるようなもので、同調よりも大きな自分自身の目を持っています。過去に実際にそれを体験したときには見ることがなかった詳細までも見ることができます。しかし投影（＊自己実現に達する前に、部分的に思い出すこと）はそれとはまったく異なります。そのパーソナリティーがそれをコントロールすることなしに、過去生の記憶が潜在意識の表面に出てくるのです。

Q：なぜ過去の出来事を変えることができず、そして未来に影響をもたらすことができないのですか？

K：過去とは一冊の本のようなもので、何であれそこに記録されたものを消すことはできないのです。あなたはそれを目撃することはできますが、変えることはできません。時間の意味は動きです。何であれ記録されていることなら一枚の木の葉が落ちることさえ目撃することができますが、それを変えることはできません。

Q：過去生の記録と平行するようなパラレルな動きに入ることは可能ですか…異なったリアリティー、異なった処遇と共に。

K：もし記録されているものと関係する出来事を創造したければ、それはまったく別のことです。それらの記録は現在と平行する、パラレルなものとなるでしょう。

Q：量子物理学では平行したパラレルなリアリティーがあることを受け入れており、時間は非線形であると言います。それはもう一つの見方です。

K：非常に速く移動することによって時間による影響のスイッチを切ることはできますが、しかしサイエンス・フィクションの映画のように再び元に戻ることはできません。

Q：過去生からの出来事を取り上げて、それを現在のものとするという事実についてもう少し説明してくれますか？

Page4

K：誰かが時間を遡っている時、それは過去を現在に持ってくるということです。もしあなたが時間を遡ると、自分の周りで起きたことを見ます。それは“三次元”的なものですが、しかしそれよりもリアルです。なぜなら、それを別のアングルから見ることができるからです。あなたはそこにいます、その出来事のなかに。しかし、時間に関していえば、あなたは過去を現在に持って来て、それを体験するわけです。しかし、一度あなたがそのステートから出れば、再び過去は過去となります。あなたが過去を訪れても新たに記録されるわけではありません。全てはそこにあり、前と同じです。あなたは何も変えることはできません。ただ見ているだけです。

　現在は違っています。なぜなら、あなたがその現在のリアリティーの中に入ると、その出来事が起きている間にあなたは不可視のヘルパーとしてあなたはその出来事の記録に向けて助けることができます。もし人類にとってそれが良いことであれば、そして法則がそれを許すなら、あなたはそれに影響を及ぼすことができます。しかし、過去を体験している間にその出来事を変えたり、人類に対する影響を変えることはできません。例えば、悪い体験の結果をあなたが変えることができたなら、あるいはあるグループの人々のために別の結果をもたらすことができたり、戦争の結果を変えたりすることができたりすることを想像してみてください。そのようなことが可能であるなら、どういう結果になるか想像できますか？

Q： Lifeからの体と人間のイデアからの体、2つの体があるというのは正しいですか？

K：四面ピラミッドのなかにいて純白の光のサイドをみると、そこには2つの同形の体があります。私たちから見て右側の体はLifeのスパークの体、それは勿論私たちの内側にあります。左側の体は自己実現の結果であり、高次ノエティカル体と呼ばれ、スーパーサブスタンスの波動を持っています。このレッスンで述べたように、それは永遠アトムの体です。

　自己実現すると、完全に再形成されたサイコノエティカル体を持つ現在のパーソナリティーは永遠のアトムと一つになり、Lifeのスパークと同一の体と共にそれ自身を現わします。それはその現在のパーソナリティーがキリスト意識に到達したことを意味します。なぜなら、それはキリストの体、Lifeの体だからです。イエスキリストロゴスは絶対存在のワンネスを意味しますが、Lifeのスパークさえも絶対存在のワンネスと同じセルフを現し、それは実際神です。

　しかし、この体は転生のサイクルにおいて別の体としては使用されません。なぜなら、このLifeの現れは現在のパーソナリティーとはなれないからです。現在のパーソナリティーは現れのために五感を使い、感覚、二元性、思考を使うことのできるのはサイコノエティカル体です。高次ノエティカル体はもはや二元性や感覚を使いません。転生のサイクルに留まって人々を助けるためにサイコノエティカル体を使用するのはそのような理由からです。サイコノエティカル体なしでは肉体を持つことはできません。

　　自己実現のステートでもし高次ノエティカル体を使うなら、その人は名前を持つ現在のパーソナリティーではありません。それは自己実現したLifeのスパークです。そのステートで、Lifeのその現れでも肉体を物質化することができます。しかし、その体は他の同胞の人間の痛みを背負うことはできません。なぜなら物質化された肉体は他の人々のために十字架に掛けられることはできないからです。ですからサイコノエティカル体は転生のサイクルに留まることによって、他の人々のために使われます。しかし、実際その現在のパーソナリティーはサイコノエティカル体を持っていても永遠のアトムと一つになっていて、高次ノエティカル体から与えられた能力を有しています。

Q：不可視のヘルパーは、気づきを高めるために努力している探求者たちを眠っている間に助けることができるのですか？

K：**あなたの成長を助けようとする不可視のヘルパーは、眠っている間にあなたのサイコノエティカル体の形を再形成して、**その結果あなたが意識的に助けるという体験を得ることができるようになり、その記憶に橋が架けられ、目覚めた時にはそれらの出来事がいくらかでも思い出すことができるようにします。

　その際にあなたに提供されるサイコノエティカル体は、気づきのレベルを意味するあなたのサイコノエティカル体とは異なります。あなたのサイコノエティカル体が僅か一秒の間でも再形成されます…その間は時間・空間という意味のステートが存在しないように。1秒の間でも多くの出来事が行われます。

Page5

　与えられた再形成された体は永遠のアトムであり、サイコノエティカル体ではありません。その体が体験の間に再形成されたのです。なぜなら誰もその体に触れることはできないからです。あなたに何が提供されたかというと、それは永遠のアトムからの完全に再形成された体であり、永遠のアトムは全ての現在のパーソナリティーを転生させる乗り物です。そしてその中にはLifeのスパークがあり、この永遠のアトムは現在のパーソナリティーを助ける権利があるのです。

　あなたを助ける不可視のヘルパーは、特定の現在のパーソナリティーを転生させるLifeのスパークと完全に同調しており、彼等は一緒に完全に再形成されたサイコノエティカル体を提供して、実在の別の波動あるいはこの実在の波動における体験を与え、この実在の波動にいる同胞の人間達に助けを与えます。

　さて、助けられるパーソナリティーたちにとって同じ“時間”に出来事が生じる必要があるでしょうか？

　例えば、ある不可視のヘルパーがある人の霊的成長を助けようとして、そのパーソナリティーに完全に再形成された体を与えます、それは朝の10時でした。その特定のパーソナリティーは何も体験しませんでした、なぜなら起きていたからです。しかし、夜になって10時に寝ると、寝ている間に不可視のヘルパーが彼のためにアレンジしたことを体験するでしょう…。

　ですから、サイコノエティカル体を使用している間に、その人は意味の向こうにいるのです。なぜなら、サイキカルの諸世界は4次元であり、ノエティカルの諸世界は5次元だからです。サイキカル界には空間という意味はありません、そしてノエティカル界には時間という意味がありません。それは夢の世界にいるかのようであり、そこではそれらが起きた時間を確信できません。しかし、現在のパーソナリティーはサイコノエティカル体であり、その体がより本来の形に再形成されていくにつれて､その人はその体験を覚えていることができるようになるでしょう。

Ｑ：状況の創造と実際の出来事の時間との間には時間のギャップがありますが、その場合、状況は虚構であるということですか？

Ｋ：違います、それらは現実です。しかし、そこで起きている出来事のなかであなたが助ける場合、不可視のヘルパーはその出来事が起きた時間にそれを創造するでしょう。しかし、そのパーソナリティーはその出来事をその特定の時間に体験するわけではありません、その人はずっと後になって体験するでしょう。

　例えば、ある出来事が夜中の2時に起きますが、その人は自分がその出来事に夜中の2時に参加したことを覚えていません。その人は朝の8時だったと考えるかもしれません。

Ｑ：それでは、上記のそれに基づいて、それは体外離脱だと主張できるでしょうか？

Ｋ：ノー、もし不可視のヘルパーがあなたが覚えているように出来事を創造するとしたら、この“出来事を創造する”という言葉を忘れないでください。それはあなた自身の意志とは関係なく起きる出来事ではありません。ですから、それらの出来事は創造されたものであり、時間と空間の意味を超えています。しかしそれでもそれはリアルな現実の出来事なのです。

Ｑ：物質界で起きるものはエレメンタルであり、そして時間に記録されるのですか？

Ｋ：そうです、しかしそれらはリアルです、不可視のヘルパーがその特定の実在の波動に関連して、特定の時間にそのパーソナリティーが体験するように設定することができるのです。

Ｑ：それは他人の意志に介入することにはなりませんか？

Ｋ：いいえ、違います。なぜなら目的は人を助けることだからです。その人のために。その人がリアリティーに触れるのを助けるために。なぜなら、それはここよりもずっとリアルだからです。そのような体験を覚えていて、それに気づいている探求者達がいます。中には、恐れを体験したという人もいます。なぜなら、周囲は実在の異なった法則の下にあったからです。そしてそれらの異なったステートの下にあることがわかると、何であれやるべきことに従うためにフォーカスしません。

　それがあなたの夢の中で起きていることです。ある瞬間にはそのような出来事に出会い、次の瞬間には別の出来事に出会います。なぜなら、あなたは思考の動きをコントロールしないからです。このようなステートと普通の夢との違いは、あなたは生じていることに気づいており、そこには目的があり、またあなた及び他の人々を同時に助けることを目的としている誰かと一緒にいる、ということです。あなたがすぐに助けることができるとは思わないでください。なぜなら、しばしばあなたはそのグループから離れていることがわかるからです。なぜならあなたは自分の思考をコントロールすることができないからです。

Ｑ：気づきを高めることにフォーカスしている人はより多くの助けを受け取る、と言うことができますか？

Page6

K：真剣にそうしている人はそうです。しかし、それもまた動機と意図によります。動機と意図が重要です。興味を抱いていても、動機と意図が純粋でない人もいます。多くの人間が自分自身の利益のために、より多くのパワーと能力を現わそうと努力しています。他の人々を引きつけて、自分の方にフォーカスさせるために。

Ｑ：もし私の理解が正しければ、サイコノエティカル界には時間という意味はありません；その場合、あなたは病気に関する場合にどのようにして未来と現在を認識するのですか？

Ｋ：私たちには様々なページのある本がある、ことを受け入れてください。そしてこの本（それは実存の全ての諸世界のための本ですが）、本それ自体は永遠の今のなかにあり、そこにはすでに空間と時間の意味のなかで記録されているページがあります。この時間・空間の意味のなかで出来事が生じると、今この瞬間でも別のページに書き込まれます。それらはいわゆるアカーシャの記録（＊アカシックレコード）と呼ばれるものです。

　さて、何であれ永遠の今に関して時間を遡ることのできる人はこの本に記録されているものを見ることができます。しかし、紙や壁に書いていくようにこの本には継続的に記録が書かれていきます。

　最初にあなたがそれらの記録を見ると、果てしのない壁のある神殿の中にいるかのようにそれらを見ます。あなたはある点からスタートし、壁に出来事を書き付けている手を見ます。そしてあなたはどんどん記録されていくのを移動しながら見ていきます。それらの記録、刻印は諸宇宙に関するものであり、あまりにも速く記録されていくので思考を使って理解しようとすると追いつくことができません。

　もしあなたが時間に関して永遠の今を少しでも理解したいなら、これがまずそこで生じていることです。なぜならそれは実際に体験されることだからです。あなたはまた果てしのない壁のある神殿に連れていかれ、あなたが立っている間に様々な出来事があなたに向かってやってくるのを見るでしょう。そして出来事があなたの方にやってきます。それらはアラバスター（＊雪花石膏）の壁です；実際、あなたはそのように体験します。

Ｋ：現在のパーソナリティーがそれ自体を分離させてノエティカル体だけを使用するのではありません。それはサイコノエティカル体です。そしてサイコノエティカル体は意味と空間を超えていきます…時間と空間という印象はあるのですが、それ自身をそれらの印象の境界内に留めておきます。それゆえに意識的には真の五感を使用しないのです。なぜなら、この三次元の世界内であるという印象を抱くからです。あなたは自由にそこを動くわけではありません。あなたはまだここにいるという印象を抱いています。

睡眠中の夢においては、自分は境界のなか、三次元の諸世界の法則の下にいるという印象を持ちます。しかし､実際にはあなたは思考と共に移動していて、何でも創造しているのです。この世界におけるような困難はありません、何であれ考えればすぐにそれが即座に生じます。

　思考だけが動きを創造していることがわかると、現在のパーソナリティーは自由に移動するでしょう。そのパーソナリティーを意味する身体ですら築くことができ、そしてそれらの身体はリアルです。周囲もリアルです。眠っているステートにおいて誰がそれを認識しているのでしょうか？あなたが成長していくと、出来事をコントロールできるようになるだけでなく、それらを次の夜へ、さらにまた次の夜へと継続させることができるのです…あなたが好きな出来事を創造するために。

　肉体の死という現象において、パーソナリティーは何であれ自分にとって楽しいことを創造し、自分自身の天国を生きます。

　Lifeのスパークが内側から上昇し、主の本質を現すよう願いましょう。あなた方の内側で主があなた方の現れとなるように祈りましょう。キリスト意識のステートを求めるべきです、つまり私たちは何であれ主からのものを現すべきだということです。

EREVNA IIP 46/KE06/?9/04/12/